

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターもも		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数) 56
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～ 令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 遊戯室や屋上芝生広場など、多様な活動空間がある 少人数体制で安全面に配慮した環境づくりができています 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や身体状況に応じて部屋や配置を工夫 パーテーションや視覚支援で集中できる環境設定 	<ul style="list-style-type: none"> 肢体不自由児も安心できる空間整備の強化 屋外活動スペースの活用計画を具体化していく
2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性を理解した個別支援ができています 家庭の思いに寄り添った関わりが評価されています 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に基づく専門的な関わり 家庭と連携し、できる力を引き出す支援 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画の説明機会を丁寧に確保 家族支援や移行支援の内容を分かりやすく周知
3	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や口頭で丁寧に情報共有している 相談への迅速な対応で信頼関係を築いている 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子や成長を具体的に伝達 困りごとに対し園と家庭の両面から提案 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流機会の新設 行事予定や情報発信方法の見直し

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画やプログラムの周知が十分とは言えない 全職員が個別内容を把握しきれていない 	<ul style="list-style-type: none"> 児童数が多く、共有時間が限られている 説明機会や振り返り時間が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> 共有方法の仕組み化(チェック表・ミニ会議) 短時間でも定期的な確認時間の確保
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースに余裕が少ない場面がある 身体状況に応じた環境整備が十分とは言えない 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行児と非歩行児が同室で活動している 空間の使い分けが固定化している 	<ul style="list-style-type: none"> 活動ごとの動線見直し 屋外スペースの計画的活用
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流機会が少ない きょうだい支援の機会が限定的 	<ul style="list-style-type: none"> 行事が子ども中心となっている 交流二卒の把握が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会の定期開催 横のつながりを意識した場づくり

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターもも

公表日 令和8年2月28日

利用児童数 80名 令和7年12月31日

回収数 56名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50	5	1	0	少人数で担任の先生も多数いてくださるので配慮ができて と思います。 遊戯室や屋上芝生広場がある。 園庭があったらいいなと思いました。 全員に対応するのは難しい事かと思いますが、肢体不自由 児の活動スペースの充実をもっと進めて頂けるともっと良い 環境になると思います。 お部屋が人数に対して狭いように感じた。 立位での歩行ができない子と立位の子が混合のお部屋にし ては狭いと感じた。 いつも綺麗で安全にして下さり良かった。室内については 十分と感じておりますが、外活動のスペースは十分とは言 えないのが正直な感想です。	今後は、遊戯室や屋上芝生広場の計画的な活用 に加え、活動内容や子どもの身体状況に応じた 部屋の使い分けや配置の工夫を行います。ま た、職員間での情報共有を大切にしながら、肢 体不自由のある子どもも安心して参加できる活 動内容や環境について検討を重ね、より一人ひと りに配慮した活動環境づくりに取り組んでまい ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	51	1	0	4	専門的なことは分からないのですが子どもたちにお応じて 援助してくださってるので私ではできてると思います。 安全には安全ですがお昼時の後が自由時間になるのでその 辺でもう少し手厚くみて欲しかった。 職員数も多く、専門知識を持った先生方が多くいらしゃ るという感想です。	昼食後の自由時間にも机上の活動や目的のある 支援を行えるように、職員の配置や役割分担を 再確認し、見守りや声かけをより丁寧にしてい きます。子どもの状態に応じて関わりを調整 し、安全面への配慮を一層強化していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になって いると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	52	1	1	2	子どもたちのイスとか机にクッション性なものをつけても らえたら子どもたちが走り回ったりした時にもし倒れてき た時に最小限に押さえられるかなと思います。 うちの子も怪我とかあったのそういう配慮をして欲しいで す。 生活空間を固定化せず、子供たちに合わせて配置を変えたり して工夫が見えます。 放課後ディサービスの見学体験に行ったときちゃんと写真 と同じ所に片付けということが理解していたのでとても 決められてるところに片付けができるということが身につ いていたのでとても印象が良かったです。	家具による事故を防ぐため、イスや机の角や脚 部へのクッション材の設置について検討しま す。あわせて、子どもの動線に応じた環境設定 の工夫を継続します。片付けについては、視覚 的に分かりやすい環境設定を行い、生活習慣と して身につくよう支援していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54	1	0	1	ももさんはいつも綺麗に清潔感があるなって感じます。 こどもの食べカスだったり、おもらして床を汚したりして いると思います。いつもキレイにしてくださりありがた うございます。 すごい考えられてるなって印象がある。 おトイレで寝転んでしまったりすることがあり、ちょっと どうかな...と思ってしまったりあります。	清掃や衛生管理については、引き続き日常的な 点検とこまめな清掃を徹底し、清潔な環境を維 持していきます。特にトイレについては、安全 面・衛生面の両方から環境設定を見直し、床に 寝転ぶことが少なくなるよう、声かけや設備面 の工夫を検討していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	50	4	0	2	日常生活していく中の言葉とかその子の特性を活かして幼 児生活が出来ると感じます。 家族の配慮もしてくださるのでありがたいです。 家でできている事が園でできていない姿が多いため、一人 で出来ることもやって頂いてしまっして申し訳ない。 年長になってからプリントがはじまったが、早い時期から でもよかったのでは。 子供の様子や特性をしっかり見た上で関わってくださっ ていて大変ありがたいです。 本当によく見ていただいているのを感じます。子供の特 性や発達過程を十分理解して下さり、個別支援計画に沿 った専門的支援が受けられていると感じています	子どもの特性や家庭での様子を踏まえた関わり を大切に、日常生活の中で自立につながる経 験を積めるよう支援しています。今後は、でき る力をより引き出せるよう援助の程度を見直 し、家庭と連携しながら段階的な自立支援を進 めていきます。個別支援計画に基づき、引き続 き専門的な視点で関わっていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	48	3	0	5	出来ると感じます。 その子に合わせてできると思う。 どのこと指すのでしょうか？	支援プログラムの周知に励むと共に、支援プロ グラムを基にした支援が展開できるように、引 き続き取り組んでいきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	54	2	0	0	その子のできないこと出来ることをちゃんと理解して計画 をたててくださいその子の成長出来るよう計画がされて ると思います。 児童発達支援計画は、特に内容の説明もなく、配布されて いるように感じるので、時間をとって先生から保護者に説 明をしたほうが良いと思う。 理解して取り組んでくれるのでとても満足してる。	子どものできること・難しいことを丁寧に把握 し、成長につながる支援計画の作成を行って います。また、内容やねらいをより分かりやすく お伝えできるよう、保護者への説明の時間や方 法を見直していきます。共有を深め、安心して 取り組める支援を進めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	52	2	0	2	全てのうえに配慮し出来ると感じます。 家族とも連携とってくださいとも感謝しています。 家族支援、移行支援についてはよくわからない。	日々の支援に加え、家庭との連携を大切にしま がら子どもの育ちを支えています。家族支援や 移行支援については、内容や支援の流れが分か りにくい面があるため、具体的な取り組みや相 談できる機会を分かりやすくお伝えしていま す。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	54	2	0	0	出来ると感じます	引き続き、児童発達支援計画に沿った支援を 行っていきます。
10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	50	3	0	3	日々の連絡ノートを見る限りでは、大体似かよった内容に 偏っているようにも感じる。	活動プログラムに幅をもたせられるように、職 員研修で勉強の機会を設けていきます。	

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	9	30	上記のような機会は保護者としては必要のないものと考えています。 やはりテーブルの違いが大き過ぎて、その様な活動とがあったとしても足が進まないのは事実です。 変に共存する事は望まず、その都度本人が1番笑ってられるような環境の選択をしております。また、健常児との交流の大きな目的は、健常児の心の育みのように感じてしまっているのかもしれない。 24時間TVなどのメディアなども同じで、健常児側の受け取り方がメインかと思えます。 健常者とのコミュニティよりも、障がい者やそのご家族とのコミュニティをより強く重視しております。 保育所等の子どもと交流する機会があるか、分らないです。	子どもにとって安心して笑顔で過ごせる環境を最優先に考え、無理な交流は行わず、一人ひとりの状況やご家庭の考えを尊重した支援を行っています。保育所等との交流については慎重に検討し、選択できる形を大切にしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	56	0	0	0	出来ると思っています。 ちゃんとなされる説明はしていただいているが、給食費がかなり高いと思う。 補助ありきの金額設定に感じる。 補助なしでは、大人の病院食より高い。	給食については、栄養バランスや食材の安全性を考慮して提供していますが、費用について負担感があるのご意見を受け止めています。今後は、給食費の補助制度の考え方について、より丁寧な説明を行い、理解を得られるよう努めていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	54	1	1	0	しっかり説明してくれているのでこちらも理解できます。	引き続き、支援内容を丁寧に行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	10	3	7	定期的に案内がきていて、とても助かります。 まだ入所させていただいたばかりでわかりません。 可能であれば、ペアトレの研修やイベントを開催していただきたいです家族も参加できる研修会を開いて頂きたいです。	情報提供については、引き続き定期的かつ分かりやすい案内を行っていきます。ペアレントトレーニングや家族も参加できる研修・イベントについては、保護者のニーズを踏まえながら、実施方法や内容を検討していきます。家庭での関わりにも生かせる学びの機会づくりを進めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	56	0	0	0	連絡帳や口頭での伝達をしてきているのでありがたいです。 毎利用ごと生活の様子や出来たことを教えていただいています。 こちらが家庭での発達状況をしっかり伝えられていないと思いました。 連絡帳はもちろん、口頭でもこういうことありました、こういうことができたたと報告してくださり嬉しいです。ちょっとしたことも相談しやすく、また子供の様子を日ごろ見て知ってくれていて共通理解ができていると感じます。 毎日の連絡ノートと、お迎え時のお話があります。とても日常の様子がわかり助かっています！帰るときには、1日の様子を教えてくれるとともに、連絡帳にもとても細かく記載していただいているので、よくわかります。連携してくれているので無理なくできるし圖やつてることなどちゃんと教える時間共有する時間をつくっていただくようにこちらからお願している、そう思います。 何か気になる点があると連絡ノートに書いてくれたり、帰りに様子を教えて頂けるので、助かります。	連絡帳や送迎時の口頭でのやり取りを通して、日々の様子や成長を丁寧に共有することを大切にしています。今後も、ご家庭からの情報を受け止めながら、双方向のやり取りを重ね、共通理解を深めていきます。相談しやすい関係づくりを継続し、安心して通っていただける支援に努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	52	3	1	0	してくれています。 年に一度のモニタリングでしたので定期的ではないです。 面談をして頂くことで本人から伝わらないことも分かるので助かっています。 とても良く支援していただいております。困った時は話し合いもしてくれているのでとても安心できる困ったことがあれば積極的にこちらからも発信していますが、適切なアドバイスをいただけて感謝しています。 面談では、細かい様子を教えてくれたり、目標を決めて支援して頂き、ありがとうございます。	面談は年2回を基本としていますが、困りごとや必要に応じて随時実施し、本人からは伝わりにくい様子や支援の方向性を共有しています。今後は、面談の時期や頻度についても分かりやすくお伝えし、目標を共有しながら、安心して相談できる支援体制を維持していきます。
保護者への説明	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	1	0	1	とても助かっています。 子供本人も大切ですが、より保護者に寄り添った共感的支援をいただいていると感じています。	引き続き、保護者との情報共有や相談を行い、支援の方向性を共に考えていきます。

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	16	5	9	今年度、親子遠足と運動あそびの日以外他の保護者と接点がなく少し悲しかったです。 何かの行事だとこどもメインになってしまうので、保護者だけの交流会や話し合いの場など設けていただけるとクラス内やもも内での横の繋がりができて嬉しいと感じました。 自分が把握してないだけでもいいのですが、保護者会等の開催をやっているかどうかわからないです。 家族参加のイベントもあるが、他家族との関わりはあまりない。いろんな情報交換もできるので、もう少し横のつながりが持てるよう、保護者同士が仲良くなれるようなイベントがあるとうれしい。 入所させていただいたばかりでわかりません。 もう少しそういう機会が増えるのいいと思うし刺激になると思う今年度は保護者同士の交流の場が設けられていなかったと感じています。※子供同伴の遠足やイベントなどは、保護者同士の交流の場、とはいえないので除外して考えます。 来年度以降は積極的に保護者同士の交流の場を開催していただきたいと強く希望します。 子供を預かっていただいている間に、保護者同士のお話や懇談会など開催希望。 センター卒園後の就学に向けて、北特支、清水特支それぞれ入学前に同じ就学先に進む顔見知りの手合いがいることは、心強い繋がりになると考えます。 寮区の高いお家さんでは積極的に交流の場が設けられて保護者同士の交流がしやすい環境にあり、就学前から情報交換やコミュニケーションがなされているそうです。 ももさんでも、保護者同士のコミュニティ普及における積極的な支援をお願いいたします。 他の保護者とも話をしたいので、交流の機会を作って頂きたいです。	保護者同士の交流について、十分な機会が確保できていなかったことを受け止めています。今後は、子ども同伴ではない形で懇談会や話し合いの場など、保護者同士が安心して情報交換できる機会の設定を検討していきます。就学を見据えたつながりづくりも意識し、コミュニティ形成を支援していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	52	1	1	2	いつも相談もできるのがありがたいです。 困っていることを相談した際、すぐに対応していただきました。とても心強かったです。 睡眠について相談したら、ももでできることとしてお昼寝の時間を短くすることをその場ですぐ提案してくださりありがたかったです。 家での対応についてもアドバイス頂けました。すぐに対応してくださり助かります。	相談しやすい環境づくりを大切にし、困りごとがあった際には、できる限り速やかに対応することを心がけています。今後も、園でできる支援と家庭での関わり方の両面から具体的な提案を行い、状況に応じた柔軟な対応を継続していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	51	1	0	4		こどもに対しては、絵カード等の視覚支援を中心に情報が伝わりやすい支援を行っています。保護者に対しては、お迎えの際やお電話、連絡ノートでの情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	41	4	0	11	ホームページやSNSをあまり見ないのでよくわかりません。 これから定期的にチェックしたいと思います。 行事予定が、年次に案内された大体の予定しかわからず、あると思っていた予定がなかったりしたので、学期ごとに案内がほしい。 子だけの予定か、親も参加なのかも分かっているとなおよい。	ホームページやSNSだけでなく、紙媒体等も含めた情報提供の工夫を行っています。行事予定については、年初の予定に加え、学期ごとの詳細な案内を行い、実施の有無や保護者参加の必要性が分かるよう整理してお知らせします。見直しを持って準備できるよう改善していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	53	1	0	2		引き続き、個人情報の取扱いには十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	45	6	1	4	入所させていただいたばかりでわかりません。 説明はされたが、訓練はしているかわからない。 訓練の実施についてはわからない。	入所間もない方にも分かりやすくお伝えできるよう、訓練内容や実施状況についての説明方法を見直していきます。日々の支援の中で行っている訓練やねらいについて、連絡帳や面談等を通して具体的に共有し、理解を深めていただけるよう努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	47	1	1	7	入所させていただいたばかりでわかりません。	引き続き、毎月1回の防災訓練を行い、有事に備えています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	0	1	4		引き続き、こどもの安全を最優先に考えて支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	49	4	0	3	自由時間とが少しもう少し配慮して欲しいです。 幸いその状況になったことがないかわかりません。 伝達はあろうがもう少し怪我のない用に留意して欲しい仕方がないことですが、先生方の目が届かないうちに引っ掻かれていたりすることもあったりするようで、帰ってきてこんなとこに傷がついてるな、と思うことがたまにあります。	自由時間は特に活動量が高まるため、職員配置や見守りの方法を再確認し、安全への配慮を強化していきます。小さなトラブルやケガについても、早期に気づけるよう見守りを丁寧に行い、必要に応じて関わり方や環境設定を調整します。引き続き、安心して過ごせる時間づくりに努めています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	54	2	0	0	ももさんに行きたいと毎日言っているほど安心の場所です。 先生方にはいつも優しく接していただき感謝しています。 前の幼稚園では、ほぼ毎日行きたくないと言っていたのが、真逆の「ももさん行きたい！」に変わりました！	子どもが安心して「行きたい」と思える居場所となっていることを大切にし、情緒の安定や信頼関係を基盤とした支援を行っています。今後も、子どもの気持ちに寄り添った関わりを継続し、安心して過ごせる環境の中で、自己肯定感や意欲が育まれるよう支援を重ねていきます。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	48	6	1	1	お友達と遊ぶのが楽しいという理解が出来るようになったので嬉しいです 機嫌や体調の変化で、泣いたり不安そうにする時もありますが、先生方の顔を見て笑顔で登園してくれるので嬉しく思います。 バスが来るまでiPadしていますが、バスがきたよ！と伝えると自らiPadの電源を切って玄関に向かいます。 ニコニコで歌を歌いながらバスに乗っていくので本当に楽しく通園しているのだと思います。 子供はまだ喋れないので実際のところはわかりませんが、ニコニコで遊んでいるのがお迎えの際に見えるのでずっと良くてもらって楽しんで過ごしていると思います。 幼稚園の方に行きたいとよく言う。 朝はよく泣いてますが、帰りはニコニコしてます。	友だちとの関わりや日々の活動の中で、「楽しい」という気持ちが少しずつ育っていることを、嬉しく感じています。気分や体調によって不安定になることもあります。安心できる大人がそばに寄り添い、見直しをもって過ごせるようにしながら、気持ちの切り替えができるよう支援しています。これからも、笑顔で過ごせる時間を大切に重ねていきたいと思っています。

	29 事業所の支援に満足していますか。	55	1	0	0	<p>先生方が真剣に聴いてくださりありがたいと思っています。いつも優しい対応で、出来たことをたくさん褒めてくださりありがとうございます。</p> <p>活動はもちろん、給食、おやつ、送迎バス、時間外の預かり等、本当に助かっています。</p> <p>子供の好きなことに寄り添っていただき、製作などしていただき感謝しています。とても満足です！</p> <p>本当にありがたいです。</p>	<p>子どもの気持ちや興味に丁寧に耳を傾け、できたことを積極的に認める関わりを大切にしています。活動や生活場面、送迎や預かりを含め、安心して過ごせる環境づくりを今後も継続します。一人ひとりの「好き」を生かした支援を通して、満足感や意欲が育つよう取り組んでいきます。</p>
その 他 ご 意 見	<p>今後ともよろしく願います。</p> <p>園での様子をいつも細かく書いて下さり、とてもありがたいです。</p> <p>今年度で卒園となりますが、3年間ありがとうございました。本当に感謝です！</p> <p>来年度は保護者同士の交流の場を多く設けていただきたいです。</p>						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援センターもも		公表日 令和8年2月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	5	にじぐみが空き教室となり活用スペースが増えたと思う。 子どもが療育する部屋や場所をパーティションがあり、集中する環境が整っている。	活動内容や子どもの特性に応じて空間配置を見直し、安全面への配慮を徹底していく。動線や家具配置を工夫し、安心して集中できる療育環境を整えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	11		人員が不足する日にも柔軟に対応できる体制を検討し、職員同士が声を掛け合いながら安心して支援にあたる環境を整えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	2	温もりのある木々が使われていて、気持ちが良いと感じる。 子どもの気になってしまうものや危険なものができるだけ減っていくよう、日々改善されていると思う。 1日の予定をホワイトボードに書いたり、タイムタイマーなどを利用している。 手順表等が置いてある。	子どもの特性に合わせた視覚支援や環境設定を継続しつつ、安全面の再確認を行い、より分かりやすく安心してできる環境づくりを進めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23	0	子ども一人ひとりに合った視覚支援などがされている。 毎日のトイレ掃除や、給食後に床を拭いたりしている。	日々の清掃を計画的に行えるよう時間配分を見直し、清潔で心地よく過ごせる空間を維持しながら活動に適した環境を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	4		個別空間の使用方法やルールを明確にし、クラス間で共有を図りながら、必要な時に円滑に活用できる体制を整えていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	4	各自PDCAを考えられるように反省や目標を設定することがある。 半年ごと目標を確認して振り返りをしている。 半年ごとに面談があるため工夫されていると思う。	目標設定と振り返りを形骸化させず、全職員が主体的に参画できるよう工夫し、日々の実践につながるPDCAサイクルを確立していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	6		評価の目的や流れを職員間で共有し、保護者からの意見を具体的な改善策へと結び付け、継続的な質の向上を図っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	3	職員会議などで職員の言葉を聞いて考えてくれているクラス会議があり、意見を話す場がある。	立場や雇用形態に関わらず意見を出しやすい雰囲気をつくり、集めた声を業務改善へ確実に反映できる仕組みを整えていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	1	第三者から得られた声を元に改善点を認めて共有している。	第三者からの評価内容を職員全体で共有し、改善点を具体化するとともに、実施状況を確認しながら継続的な改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	1	研修が多くある。 研修が月に何度かある。	外部・内部研修の機会を活用しつつ、学んだ内容を共有・振り返る時間を設け、日々の支援に生かせる体制を強化していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0	クラスの中で話し合ったり、面談の際に保護者の方に見せながら話している。	支援プログラムの内容を職員全体で共有し、保護者にも分かりやすく説明できるよう資料や伝え方を工夫し、透明性を高めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	1	子どもの様子、保護者の思いを考えている保護者の方の困り感も支援計画の内容に入れている。	記録や話し合いの時間を確保し、子どもと保護者のニーズを丁寧に分析したうえで、根拠のある支援計画作成を徹底していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	0	クラスの中で話し合いながら作成している。 皆子どものために頑張っていると感じる。	関わる全職員が意見を出し合い、多角的な視点で検討できる体制を整え、子どもの最善の利益を第一に考えた計画づくりを進めていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	1	クラスの先生同士で、プリントが配布されたり共有ができていると思う。 支援計画や子どものその日のように沿って支援をおこなっている。 クラス内に貼り出されている。	支援計画の共有方法を工夫し、全職員が内容を把握できる体制を整えていく。日々の支援と計画を結び付けながら、子ども一人ひとりに沿った支援を確実に実践していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	6		標準化ツールの評価基準を職員間で再確認し、結果の捉え方に差が出ないよう共通理解を図っていく。フォーマルとインフォーマルの両面から確認し、客観性のある評価につなげていく。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	1	ガイドラインを読んで理解している。 継続で良いと思います。	ガイドラインのねらいを継続して確認し、本人・家族・移行・地域連携の視点が支援に反映されているか見直していく。具体性のある計画となるよう検証していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21	2	協調性がみんなある毎回ではないが、ある程度話し合っているときもある。	会議時間を有効に使えるよう事前共有を工夫し、限られた時間でも具体的な話し合いができる体制を整えていく。参加が難しい場合も情報共有を徹底していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	22	1	子供の様子や先生の配置人数によって変わるが、新しいことを取り入れたりしている。 子どもが楽しみながら活動できるように、また療育として発達に合わせて成長できる活動を考えている。	子どもの様子や発達段階に応じて活動を見直し、新しい取り組みも取り入れていく。楽しさと目的を明確にし、活動の質を高めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	1		子どもの人数や状況を踏まえ、個別と集団のバランスを意識した計画を立てていく。制作等の個別活動の機会を活かし、一人ひとりに応じた支援の充実を図っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	11		送迎等で全員が揃わない状況でも、短時間でも要点を共有できる仕組みを整えていく。事前に役割分担を明確にし、余裕をもって情報共有することでチーム連携を強化していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	15	クラス会議の際に行っている。	送迎等で全員が揃わない状況でも、短時間で振り返りや共有ができる方法を工夫していく。できる限り気付きを共有し、改善点を次の支援に反映できるよう体制を整えていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21	2	生活ノートで支援計画などを意識して書くようにしている。	生活ノートを活用して支援計画に沿った記録を丁寧に行い、検証や改善につなげていく。記録と休憩の時間を分け、効率よく振り返りができる体制を整えていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	0	モニタリングを元に、再度計画している。	定期的なモニタリングの結果を基に、児童発達支援計画の見直しを適切に行い、支援内容の精度と実効性を高めていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0		こどもの状況を十分に理解した職員が会議に参加できるよう調整し、関係機関との情報共有や連携を確実にやっていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	3		関係機関との連携体制を整え、保健・医療・福祉・保育・教育の各分野と情報共有や協力を円滑に行えるよう努めていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	図っている。 保育所にいたり、小学校の支援級を見に行くことがある。 見学等に行かせてもらっている。	保育所や小学校等との情報共有や見学を通じ、併行利用や移行に向けた支援の工夫を行い、インクルージョン推進につなげていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	1	ももを卒業してからのことがわからないが、就学の際には情報を伝えることにしていることが多いと思う。 見学等に行かせてもらっている。	就学時には小学校や特別支援学校と情報共有や見学を通じて支援内容の相互理解を図り、円滑な移行につなげていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	9	大根堀り等を行っている。	地域の他事業所と連携し、交流活動や共同取組（例：大根堀り等）を通じて、地域全体の支援の質向上につなげていく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	20	3	講師で来ていただいた赤塚先生の話がためになりました。	専門家や研修を通じて助言や学びを得て、支援の適切性や課題を把握できるよう機会を増やし、職員の知識と技術の向上につなげていく。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	14		協議会や地域の子ども・子育て会議の内容や仕組みを理解し、積極的に参加して情報共有や地域連携に役立てていく。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	14	隣の保育園と関わることがあるプールを貸したり、他の園との交流が少しずつ増えてきていると思う。 見学に来たり行ったりしている。	保育園や幼稚園等との交流や見学の機会を活用し、地域の他のこどもとの関わりを増やして、社会性や経験を広げていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	23	0	送迎の際や、連絡ノートで子どもの様子などを詳しく伝え、たまにご家庭での状況をきくこともしている。	送迎や連絡ノートを通じて子どもの状況を保護者と伝え合い、発達や課題の共通理解を深められるよう工夫していく。全家庭に均等に情報共有できる体制を整えていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	15		家族支援プログラムや研修、情報提供の機会を通じて、家族の対応力向上を支援し、子どもの育ちや家庭での支援につなげていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	5		運営規程や支援プログラム、利用者負担について丁寧に説明できるよう情報を整理し、保護者にわかりやすく伝えていく。
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0	モニタリングをおこなっている面談の際に、支援計画の内容を確認している。	モニタリング面談の機会を活用し、こどもや保護者の意向を確認して尊重し、最善の利益を優先した支援計画の作成につなげていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	0	面談の際に説明している。 支援計画を必ず保護者に目を通すようにしてもらっている。 モニタリング等で話す機会があり、伝えやすい。	面談やモニタリングの機会を活用し、児童発達支援計画を示して内容を説明し、保護者から同意を得られるよう丁寧に伝えていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	1	電話や、連絡ノートでやりとりをしたりしている。 連絡ノートや引き渡しの際に受ける相談をクラスで考えたり、その場で実際に行っている支援についてお伝えしたりしている。 合っているか不安になるが、先輩方に立ち会ってもらってできている。	電話や連絡ノート、引き渡し時のやり取りを通じて、保護者の子育ての悩みに対応し、面談や助言を行い支援につなげていく。先輩のサポートを受けながら適切に対応していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	12	保護者の交流の機会は少ないが、場所の提供等活動への協力は行なっていると思う。 参加会という行事があり、保護者同士で関わる場もある園外行事でできている。	父母の会や保護者会、園外行事等を通じて、保護者同士やきょうだい同士の交流の機会を提供し、支援につなげていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	1	速い対応が素晴らしいと感じる。	相談や申入れの体制を整備し、周知を徹底することで、こどもや保護者からの相談に迅速かつ適切に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	5	おたよりを出している。	おたよりやHP、SNS等を活用して、活動内容や行事予定、連絡体制などの情報をこどもや保護者に定期的に発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0	個人情報類は必ず事務所に置いたり子供の名前を防いでいる。	個人情報の管理を徹底し、書類の保管場所や名前の取り扱いに十分留意し、情報が適切に守られる体制を維持していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	0	絵カードや、マカトンサインも使って関わっている。 ジェスチャーや絵カードなど子どもにわかりやすく伝えるように意識している。	絵カードやマカトンサイン、ジェスチャー等を用いて、障害のあるこどもや保護者にわかりやすく伝える工夫を継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	12		事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を意識し、交流や理解の促進につなげていく。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	1	3月に一回ほど行っている。 不審者訓練や防災訓練を行っているため安心している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	1		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えて避難や救出等の訓練を定期的実施し、安全かつ円滑な対応体制を整えていく。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23	0	子どもに服薬があると、クラスの職員に周知するようにしている。	服薬や予防接種、てんかん発作等の状況を事前に確認し、クラス職員へ周知する体制を整えていく。発作対応の研修や実践的な準備を通じ、適切に対応できる力を高めていく。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	21	2		医師の指示書に基づき、食物アレルギーのあるこどもへの対応が適切に行える体制を維持し、必要に応じて全職員が対応できる準備を整えていく。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	2		安全計画を作成し、研修や訓練を実施するなど必要な措置を講じ、安全管理が十分にされた環境で支援を行える体制を整えていく。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	8		安全計画に基づく取り組み内容を家族に周知し、連携を図りながらこどもの安全確保に努めていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	0	忘れないうちに書いて共有している。	ヒヤリハットを記録・共有し、忘れないうちに検討して再発防止策を職員間で話し合い、安全管理に活かしていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	1	トイレに虐待防止委員会の紙が貼られている。	職員研修や委員会の掲示等を通じて虐待防止への意識を高め、適切に対応できる体制を整えていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	19	4		身体拘束の必要性や基準を組織で明確にし、保護者に事前説明と理解を得た上で、児童発達支援計画に記載できる体制を整えていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日	～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日	～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月20日	～	令和7年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 園や家庭と丁寧な情報共有し方向性をそろえている 子どもの姿や背景を踏まえた具体的助言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問時に子どもの様子や見解を具体的に伝達 園の悩みに対し共に手立てや関わり方を検討 保護者とも状況を共有し支援の統一を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間でも要点を整理した共有資料の活用 事前打合せで目的や役割を明確化 園の方針をより踏まえた助言力の向上
2	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧で柔らかな姿勢による信頼関係の構築 相談に迅速かつ誠実に対応する体制 	<ul style="list-style-type: none"> その場で回答、又は確認後に丁寧に返答 面談やモニタリングで意向を丁寧に把握 困り感に寄り添い共に方向性を考える 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン等も活用し説明機会を確保 家族向け研修や情報提供の充実 助言内容の具体性と根拠の明確化
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向を尊重した計画作成 訪問先の困り感を踏まえた支援内容の設定 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングを通じた見直しの実施 報告書作成による振り返りと整理 担任と連携しながら計画を作成 	<ul style="list-style-type: none"> 園の意向をより計画に反映する仕組み化 事例検討や研修による専門性向上 役割分担を明確にした計画共有の徹底

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 相談には応じているが、専門的助言が十分でない 園との方針のずれを感じる場面がある 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援に特化した研修機会が不足している 事例検討が深まらず、自信を持ちにくい状況 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修や専門家助言の積極的導入 目的を明確にした事例検討の実施 複数職員で助言内容を検討する体制強化
2	<ul style="list-style-type: none"> 十分なカンファレンス時間が確保できない 役割分担や目的確認が曖昧になることがある 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先が多忙で打合せ時間が限られている 事前資料や共有ツールが十分整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 要点を整理した資料の事前配布 短時間で確認できる共有様式の作成 支援前後の簡易打合せの仕組み化
3	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントが十分に行えない場合がある 園の意向が計画に十分反映できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 担任との協議時間が限られている フォーマルな評価手法の活用が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 標準化ツールの活用による客観性向上 園と共有できる簡潔な計画様式の工夫 定期的な見直し機会の明確化

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援）

公表日 令和8年2月28日

利用児童数 12名

回収数 8名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	4		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	7	0	0	1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	8	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	2	0	4	子供への関わり方を知りたいので、研修会を開いて頂きたいです。	ペアレントトレーニングや家族も参加できる研修・イベントについては、保護者のニーズを踏まえながら、実施方法や内容を検討していきます。家庭での関わりにも生かせる学びの機会づくりを進めていきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0	いつも話を丁寧に聞いてくださり感謝しております。	引き続き、保護者との情報共有や相談を行い、支援の方向性を共に考えていきます。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	2	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	4		ホームページやSNSだけでなく、紙媒体等も含めた情報提供の工夫を行っています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	7	0	0	1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和8年2月28日

児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援）

訪問先施設数 11 回収数 8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	0	1	いつも丁寧に子どもの姿と、見解を伝えてくださり、現場にフィードバックできています。 特に活かしたい助言をもらえなかった園の様子なども見てもらいながら、手立てなどを相談させて頂けて有り難かったです。 こちらと共通理解出来ているので良いこちらの悩んでいることに対してアドバイスをして下さったり、保護者への投げかけや関わり方を教えて下さったりして、園と療育との関わり方や投げかけ方の統一ができたと思います。	子どもの姿や背景を丁寧に共有し、園や家庭と連携しながら支援の方向性をそろえることを大切にしています。今後も具体的な手立てや関わり方を共に検討し、共通理解のもとで一貫した支援が行えるよう努めていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	1	0	こども園の保育を知らない方が来ていたので、こちらの思いとのズレを感じた	関わる職員間で保育方針や支援のねらい、園の実情を十分に共有し、ご家庭や園の思いとのずれが生じないよう連携を強化していきます。事前の情報共有を丁寧にを行い、共通理解のもとで一貫した支援ができる体制づくりに努めていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	0	1	その場で答えてくださる事、確認してから、後で電話などで伝えてくださる事、どちらも丁寧ですもさんでの様子をお聞きしながら、園での支援の相談にものっていただきました。	その場でお答えできることは速やかに対応し、確認が必要な内容は改めてお伝えするなど、丁寧な情報共有を心がけています。今後も、ももでの様子を具体的にお伝えしながら、園での支援についても共に考え、関わり方を整理できるように連携していきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	0	2	一緒に考えてくださる立場の人間がいることは、こども園の職員にとっても心強いと思います。 園児がいろいろできるようになっている。	園や関係機関と連携しながら、子どもの姿を共有し共に支援を考える体制を大切にしています。職員同士が相談し合える関係を築くことで、現場での課題や困りごとにより効果的な助言を心がけていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	7	0	1		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>今後ともよろしくお祈いしますお時間が限られている中、日々の姿や悩みなどに耳を傾けてくださり、ありがとうございます！</p> <p>時間の限られる中ですが、その時の悩んでいることなど引き続き共有できると嬉しいです！</p> <p>いつも物腰柔らかく丁寧な姿勢で関わり、成長した点をたくさん見つけて褒めてくださるので、子どもも喜び、より良い支援につながったと思います。</p> <p>いつもありがとうございます！</p> <p>これからも子どものことを一緒に考えていけたら嬉しいです！よろしくお祈いいたします。</p>					<p>限られた時間の中でも、日々の様子や悩みに丁寧に耳を傾け、こどもが成長した姿を共有することを大切にしています。今後も丁寧に情報共有をしながら、子どもの得意やその子らしさを共に見つけていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお祈いいたします。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援）					公表日	令和8年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 ・ 整 運 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	1	特に使用していない	今後、教員教材が必要になった際は適切なものを用意します。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	モニタリングや報告の際にご意向を伺ったり、今後の方向性を考えたりできていた部分もある。	モニタリングや報告の機会を通して、ご家庭の意向を丁寧に向いながら、必要に応じて見直しを行い、適切な支援につなげていきます。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	上司に色々と相談に乗っていただいた。	組織内での相談体制を大切にし、上司や職員間で情報共有を行いながら支援の方向性を確認しています。今後も一人で抱え込まず、複数の視点で検討する体制を継続し、より適切で安定した支援が提供できるよう努めていきます。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	個人的にはもっと勉強する機会がほしかった。よくわからなくて自信がないままだった。訪問についての研修は開催されていない。また、訪問支援員で話合う場はあるが、話の内容は深まっていない。	訪問支援に関する研修機会が十分でなかった点を受け止め、外部研修も積極的に取り入れて学びの場を計画的に設定していきます。また、支援員同士の話し合いについても、事例検討や目的を明確にした協議の場とし、内容を深められる体制づくりを進めていきます。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	保育所やこども園、幼稚園など、それぞれで環境や保育内容が異なるため、課題を捉えることが難しいことがある。また、担任の先生方も忙しいことから話をする時間の確保に難しさも感じる。先生方の負担にならないようなコミュニケーションの取り方を検討したい。	資質の向上のために子どもを知ることが重要であるため、各園の担任の先生方の負担とならないよう、短時間で要点をまとめた資料の活用や連絡方法の調整を行い、効率的で継続的なコミュニケーション体制を整えていきます。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	そこまではできていなかった。担任と連携して行っている。	十分に実施できていなかった点を振り返り、今後は計画的に取り組める体制を整えていきます。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	訪問先での困り感を伺い、それも踏まえながら作成できたと思う。保護者の意向を最優先している。子ども園側の意見を盛り込むことも今後視野に入れたい。	訪問先での困り感や保護者の意向を丁寧に伺い、計画に反映することを大切にしています。今後は、子ども園側の意見や現場での視点も踏まえ、より実情に即した計画作成につなげていきます。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2	訪問先も忙しいため、そこまではできないのが現状だと思う。	短時間でも役割や目的を確認できる方法を検討し、事前資料の活用や要点を整理した打ち合わせを工夫していきます。		

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	3	少しだけ話を伺うことしかできない日が多い。役割分担まで確認する時間がないので今後検討が必要。	短時間でも役割や目的を確認できる方法を検討し、事前資料の活用や要点を整理した打ち合わせを工夫していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	報告書の作成を通してできている部分もある。改善が必要だと感じても訪問先に伝えづらい。	報告書の作成を通して支援内容の整理や振り返りを行っています。改善が必要と感じた点については、伝え方やタイミングを工夫し、相手の立場に配慮しながら共有できる方法を検討していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	以前よりはそういった機会が増えていると思う。	就学時の移行にあたっては、小学校や特別支援学校との情報共有の機会を設け、支援内容や配慮事項を伝えるよう努めていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	よくわからない。	外部研修を積極的に取り入れ、質の向上に向けて取り組んでいきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	家が遠くて会えないご家族だと、直接説明を行えない場合もあった。	直接お会いして説明できない場合は、オンライン面談や電話、書面での補足資料等を活用し、どのご家庭にも十分な説明と意向確認が行える体制を整えていきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	1		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	3		

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	助言しづらさがあったり、個人的にはあまりお力になれなかったりする感覚が強い。	助言の難しさや十分に力になれなかったと感じる点を振り返り、専門性向上に向けた研修の機会を充実させていきます。また、一人で抱え込まず複数で検討する体制を強化し、根拠に基づいた助言が行えるよう支援力の向上に努めていきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1	立ち話程度。	訪問先の状況により十分なカンファレンスが難しい状況だが、担当保育教諭と短時間でも情報共有の時間を設けています。今後は要点を整理した資料の活用などにより、短い時間の中でも効果的に情報共有を行っていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	2	訪問先もお忙しく、カンファレンスを行うほどはできない。実施後ではないが、担当保育教諭とお子さんに関する話を話す時間を設けている。	訪問先ではカンファレンスの時間を確保することが困難ですが、電話や書面での補足資料等を活用し、事前の情報共有や短時間協議が行える体制を整えていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	実施後ではないが、担当保育教諭とお子さんに関する話を話す時間を設けている。	訪問支援実施後に報告書を作成し、保護者との面談や電話連絡で支援内容や表れの共有を行っています。引き続き、園や保護者との連携を密にしていきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	立ち話が多くなってしまうが、声の大きさに配慮している。	立ち話等の短時間の情報共有では場所を変えて話すことは難しいが、周囲の人には聞こえないように配慮して情報共有していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	1	助言までではできていない。	訪問先からの相談には丁寧に応じ、信頼関係の構築を大切にしていますが、具体的な助言までは十分に行えていない場合もあるため、今後は現状の聞き取りにとどまらず、必要に応じて専門的視点からの具体的な助言を検討していきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		